



砂川市少年の主張大会

聴衆の前で堂々と主張しました！

6月4日（土）公民館において「砂川市少年の主張大会」が開かれました。

新型コロナウイルス感染症対策として入場者を限定しつつも、会場内では中学生7名の主張を直に聞いていただくことができました。じつに3年ぶりのことです。

中学生達は日ごろ考えていることや感じていることについて、時に身振りを交えながら、堂々とした様子で聴衆に語りかけました。SNSでの誹謗中傷、いじめ問題などに真剣に考えたり、自己肯定感の大切さや友達との信頼関係づくりといった心熱くなる話題について語ったりと、テーマは多岐に渡りました。審査員を始め発表を聞いた方たちは、中学生の真剣な思いに頷きながら耳を傾けていました。

厳正な審査の結果、砂川中学校3年の伊藤史乃さんが最優秀賞に選ばれました。伊藤さんは7月にビデオ審査形式で行われる「少年の主張大会空知地区大会」に砂川市の代表として推薦されます。

発表した7名のみなさんの主張は、今号から1人ずつ紹介していきます。ぜひお読みください。



最優秀賞



砂川中3年 伊藤史乃さん
「『Love myself』」

優秀賞



砂川中3年 盛川琴音さん
「伝統芸能を守るために」



砂川中2年 林夢華さん
「友達の大切さ」

優良賞



石山中3年 太田菜絵さん
「まん防が終わった今だから」



砂川中2年 浅川奏芽さん
「私たちが生きる時代」



石山中3年 工藤来春さん
「角度を変えて見る世界」



石山中2年 清原結和さん
「石山中から物申す」